※令和４年度以降入学生用

学校番号	206

令和５年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ON!１」　（音楽之友社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テスト、実技発表等で評価します。
・仲間とともに課題に取り組むグループ活動も行い、「協働する力」を養います。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。
※コロナ感染症対策の観点や、使用教材によって、実施内容や時期を変更・調整することもあります。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方･考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質･能力を次のとおり育成することをめざす。
（1）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（2）自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
（3）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽にとって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	鑑賞	・ギター弾き語り ・ギターの演奏法 ・音楽用語 ・西洋音楽史（ルネッサンス、バロック、古典派） ・映画音楽 ・ア・カペラ	a：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。 b：音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c：楽器や各ジャンルの音楽に関心を持ち、主体的、共働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	テスト ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出	取り組み状況 観察
	歌唱	・校歌 ・海の声	a：言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 b：音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c：主体的・共働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技の聴取 観察	振り返りシート ワークシート	取り組み状況 観察 振り返りシート
	器楽	ギター弾き語り ・持ち方、弾き方 ・チューニング方法 ・指弾き、ピック弾き、タブ譜 ・ハ長調の音階を演奏 ・「喜びの歌」演奏 ・コードネーム ・コード弾き ・ストローク ・「海の声」弾き語り発表会	a：曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 b：創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの機能を身に付けている。 c：主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	テスト 観察 実技の聴取 実技発表	ワークシート	取り組み状況 観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	創作	・音階（長調）の理論と演奏 ・コードネームの理論とコード演奏	a： 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、旋律や和音に関する技能を身に付けている。 b： 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの響きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 c： 主体的・共働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	テスト 観察 実技の聴取	ワークシート	取り組み状況 観察
２学期	鑑賞	・発声法 ・奄美大島の島唄 ・西洋音楽史（ロマン派以降） ・DTM,DAW ・歌詞について ・リズム隊（ベース、ドラム） ・作曲方法 ・編曲方法 ・ボーカルレコーディング方法	a： 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。 b： 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c： 楽器や各ジャンルの音楽に関心を持ち、主体的、共働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	テスト ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出	取り組み状況 観察
	歌唱	ア・カペラについて ・チーム決め ・選曲 ・各パート音取り ・合わせ ア・カペラ（3 声）発表会 ・振り返り	a： 様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 b： 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c： 主体的・共働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技発表 観察	ワークシート 振り返りシート	取り組み状況 観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	器楽	・長調 12 種類の理論とピアノ演奏	a：楽器の音色や奏法について理解している。 b：音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を自覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c：主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	テスト 観察	ワークシート	取り組み状況 観察
	創作	オリジナル曲の制作（DAW） ・チーム決め、役割分担 ・コンセプト ・作詞 ・メロディー制作 ・ドラムパート制作 ・コード進行の制作 ・ベースパートの制作 ・ボーカルレコーディング ・アレンジ	a：音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、旋律を作ったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付けている。 b：音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの響きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って創作表現を創意工夫している。 c：主体的・共働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	作品提出 観察	ワークシート	取り組み状況 観察 振り返りシート
3学期	鑑賞	・アジアの様々な音楽 ・世界の楽器や音楽 ・日本の楽器や音楽 箏、三味線、尺八、馬頭琴、二胡、タブラ、アルプホルン	a：世界の楽器や音楽、我が国の楽器や音楽の特徴について理解している。 b：音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c：楽器や各ジャンルの音楽に関心を持ち、主体的、共働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	テスト ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出	取り組み状況 観察

※令和４年度以降入学生用

	器楽	和太鼓 ・チーム決め ・演奏法 ・合奏とソロ部分の創作 ・和太鼓発表会 ・振り返り	a: 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を自覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c: 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技発表 観察	ワークシート	取り組み状況 観察 振り返りシート
	創作	創作発表会 ・ボーカルレコーディング ・アレンジ ・編集作業、ミックス作業 ・楽曲データの提出 ・創作発表会 ・振り返り	a:創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形作っている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付けている。 b: 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの響きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って創作表現を創意工夫している。 c: 主体的・共働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	観察 作品提出 創作発表	ワークシート	取り組み状況 観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度